

北海道市町村振興協会設立40周年記念特別支援事業 Q & A

(平成31年2月26日作成)

Q 1 交付金の上限は。

A 1 「別紙 市町村別交付金額」のとおり。

Q 2 他の制度（補助金・交付金等）との併用は可能か。

A 2 可能。ただし、市町村の負担分が対象となるため、過充当とならないよう事業を実施すること。（当協会の他制度との併用は不可。）

Q 3 予算措置（歳出）について、新たな事業で予算計上しなければならないか。

（H31年度内事業での予算振替等により対応することは可能か。）

A 3 予算振替等での対応でかまわない。

Q 4 予算措置（歳入）について、名称はどのようにすれば良いか。

A 4 各市町村で決めていただいて差し支えないが、当協会（40周年記念特別支援事業）の交付金である旨、配意願いたい。

Q 5 施設等整備事業を実施した場合において、実施設計等は対象となるか。また、起債事業にこの交付金を充当することは可能か。

A 5 実施設計等は対象外。起債事業に充当することは可能。

Q 6 対象事業のうち、複数事業を実施することは可能か。

A 6 可能。

Q 7 備蓄品、備品等の購入にあたっては、備蓄品等の整備計画は必要か。

A 7 不要。

Q 8 備品等を整備した場合、「贈 北海道市町村振興協会」等の記載は必要か。また、記載に係る費用は対象になるか。

A 8 不要。記載した場合においても費用は対象とならない。

Q 9 物品の購入個数（同じ物品を何個まで）に上限はあるか。

A 9 市町村で必要な個数であれば、上限はない。

Q 10 平成 30 年度に他の制度（補助金・交付金等）を活用し備品を購入したが、
40 周年特別支援事業において、前年度と同じ備品を購入（買い増し）することは可能か。

A 10 可能。

Q 11 車両を整備する際、車庫を整備（新規購入、改修）した場合は対象になるか。

A 11 車庫の整備については、対象外。

Q 12 防災備蓄品等整備基金(仮称)の積立について、すでに類似する基金がある場合、
その基金に 40 周年特別支援事業の交付金を積み立てすることは可能か。

A 12 不可。積立金とする場合は、新たな基金を設置すること。

Q 13 防災備蓄品等整備基金(仮称)積立金について、基金を設置し積み立てた後に、
市町村において積み増しすることは可能か。

A 13 可能。

Q 14 地域防災計画等の計画策定に係る経費は対象となるか。

A 14 対象外。

Q 15 基金積立の場合、「非常用飲食料」以外は対象にならないのか。

A 15 交付対象事業のうち、防災備蓄品整備事業に掲げた内容で、2～3 年で更新・
補充を要するものを対象とする。